

国際会計論 Exercise

Chapter 8: 棚卸資産の会計

* 解答はすべて解答用紙に記述してください。

問1 棚卸資産の当初認識について説明しなさい。

問2 以下の【資料】に基づいて、各方法により棚卸資産の評価を行いなさい。

- (1) 先入先出法
- (2) 加重平均法

【資料】

3月1日 商品Aを@¥100で100個仕入れた。

10日 商品Aを@¥120で150個仕入れた。

20日 商品Aを@¥130で200個仕入れた。

25日 商品Aが売価@¥220で50個売れた。

問3 棚卸資産の評価で、(1)低価法の意味と、(2)低価法が強制される理由について説明しなさい。

問4 以下の【資料】に基づいて、品目法と類別法により、棚卸資産の期末評価額と商品評価損の金額を計算しなさい。

【資料】

(単位:千円)

商品グループ		原価	正味実現可能価額
Xグループ	商品A	18,000	13,000
	商品B	25,000	22,000
	商品C	26,000	26,000
	小計	69,000	61,000
Yグループ	商品D	30,000	27,000
	商品E	35,000	38,000
	小計	65,000	65,000
合計		134,000	126,000

国際会計論 Exercise 解答用紙

Chapter 8	ID Number	Name	Grade
棚卸資産の会計			

問 1

問 2

(1) 先入先出法 : 円

(計算式)

(1) 加重平均法 : 円

(計算式)

問 3

(1) 低価法の意味

(2) 低価法が強制される理由

問 4

(1) 品目法	商品評価額	(計算式)
		(答) 千円
	商品評価損	(計算式)
		(答) 千円
(2) 類別法	商品評価額	(計算式)
		(答) 千円
	商品評価損	(計算式)
		(答) 千円